

学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

・ 定員充足の見込み

年 度	志願者	志願倍率	入学者	定員 充足率	地域枠 志願者	地域枠 志願倍率
平成31年度	353	3.10	114	100	30	1.76
平成30年度	307	2.69	114	100	28	1.65
平成29年度	375	3.29	114	100	34	2.00
平成28年度	296	2.60	114	100	27	1.59
平成27年度	704	6.18	114	100	34	2.00

医学部医学科の過去5年間（平成27年度～平成31年度）の志願倍率は、それぞれ6.18倍、2.60倍、3.29倍、2.69倍、3.10倍となっており、平均志願倍率は3.57倍であり、各年度3倍近くの受験生を確保している。入学者は各年度とも入学定員どおり114人で、定員充足率も100%を保っており、定員充足に必要な学生数は確保できている。

また、地域枠志願学生についても、過去5年間（平成27年度～平成31年度）の志願者数は、それぞれ34人、27人、34人、28人、30人となっており、平均志願者数は30.6人で、地域特別枠、地域枠を合わせた地域枠学生募集人員の17人の約1.8倍となっており、こちらも定員充足に必要な学生数は確保できている。

なお、四国地区の環境や生活に関心を持ちつつ、地域に貢献し、国際性と研究能力を兼ね備えた医師を目指す者を積極的に受け入れる目的で、アドミッション・オフィス入試「四国定着研究医型」（大学入試センター試験を課す）（入学定員8人）を平成31年度から実施しており、31年度には、20人の志願者のうち4人がこの入試で入学した。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況（予定含む）

学生確保に向けた取組として、大学入試説明会に加えて、高校生に対して以下の広報活動を行い、受験生の確保に関する努力を行っている。

毎年8月上旬にオープンキャンパスを開催し、来学した高校生に対し大学での教育、研究、将来の進路等について説明している。

また、医療に興味のある徳島県下の高校生を対象に、徳島県と連携して医療教育開発センタースキルラボでシミュレータを用いた医療体験実習（心音呼吸音聴診・採血・縫合・手洗い・心肺蘇生等）を毎年8月に行っている。医学科学生が指導補助となり、高校生との交流の機会ともなっている。さらに、各高校からの基礎医学および臨床医学体験学習の実施依頼にも個別に対応している。

それとともに、公開講座としての「医学研究実習」にて、学部学生とともに研究を行うプログラムを県内の高校生対象に実施しており、今年度は、17名の高校生が参加した。

高等学校教員に対しても、「高校教員向け入試説明会」を毎年開催し、入試等について広報活動を行っている。それに加え、要望のあった高校を入試委員が訪問し、高校生にも入試広報活動を行っている。